

令和元年度 指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	中島病院旧本館（呼称：城西浪漫館）
(2) 指定管理者	所在地 岡山市北区表町一丁目1-40 名称 株式会社内外総合通信社 代表者 代表取締役 延原 陽子
(3) 公の施設の所管部署	産業文化部歴史まちづくり推進室
(4) 指定期間	平成28年4月1日～令和2年3月31日
(5) 評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	令和元年度実績	対30年度	平成30年度実績	対29年度	平成29年度実績
	来館者数 7,708人 (男性 4,268人) (女性 3,440人) 喫茶利用者数 2,856人	-6,086人 -2,020人 -4,066人 -1,351人	来館者数 13,794人 (男性 6,288人) (女性 7,506人) 喫茶利用者数 4,207人	-79人 44人 -123人 -382人	来館者数 13,873人 (男性 6,244人) (女性 7,629人) 喫茶利用者数 4,589人
(2) 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・開館業務 ・貸館業務 ・喫茶室運営業務、 ・自主事業（嵯峨御流鶴山司所生け花展、ちりめん細工体験教室と作品展、宇田川榕庵御命日城西まち歩き、藤本氏と瀧上氏2人展、ちりめん細工工房「まゆだま」による作品展、コーヒーの日「榕庵珈琲」試飲会、世界糖尿病デーに合わせブルーにライトアップ、中島病院のもちつき大会で榕庵珈琲の無料試飲会、甘酒無料配布、コカリナコンサートなど） 				

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	令和元年度実績	対30年度	平成30年度実績	対29年度	平成29年度実績
	総額 4,220千円	-2,236千円	総額 6,456千円	-632千円	総額 7,088千円
内訳	内訳		内訳		内訳
指定管理料	2,523千円	23千円	2,500千円	千円	2,500千円
利用料金	35千円	31千円	4千円	-13千円	17千円
喫茶売上	1,512千円	-1,108千円	2,620千円	-565千円	3,185千円
自主事業（参加者負担金）	千円	-101千円	101千円	-9千円	110千円
雑収入（物販ほか）	7千円	-323千円	330千円	206千円	124千円
自社負担金	143千円	-758千円	901千円	-251千円	1,152千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	令和元年度実績	対30年度	平成30年度実績	対29年度	平成29年度実績
総額 4,220千円	-2,236千円	総額 6,456千円	-632千円	総額 7,088千円	
内訳	内訳		内訳		内訳
人件費	2,013千円	-1,547千円	3,560千円	-272千円	3,832千円
消耗費	97千円	34千円	63千円	11千円	52千円
光熱水費	442千円	41千円	401千円	-24千円	425千円
通信費	80千円	-4千円	84千円	-26千円	110千円
警備委託	62千円	-29千円	91千円	千円	91千円
備品費	千円	-9千円	9千円	-35千円	44千円
研修費	395千円	11千円	384千円	47千円	337千円
会費等	40千円	-7千円	47千円	12千円	35千円
喫茶仕入（4月～3月）	510千円	-934千円	1,444千円	-279千円	1,723千円
自主事業費	千円	-35千円	35千円	-159千円	194千円
その他（租税公課等）	581千円	243千円	338千円	93千円	245千円

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等	イベント参加者にアンケート調査を実施
(2) 指定管理者の自己評価	<p>令和元年度は指定管理者代表死去に伴い、職員一人体制で館の運営が始まるも、これまでの実績から展示回数開催することができ、前期に限って言えばそれなりに来館者数があった。</p> <p>また、津山おくにじまん研究会のご協力で毎年実施していた「宇田川榕庵御命日城西まち歩き」は例年通り開催され、今年も好評のうちに終えることができ、今後何らかの形で継続していきたいと城西の方々から話を聞いている。</p> <p>喫茶については、夏休みなど長期休暇を利用した県外からの来館者で前期は平年並みに推移したが、一人体制ということ、利用者が午後からの時間帯に集中したため、残席状況によっては見学のみで帰られる方が多く見られた。雑誌等の取材依頼があった際、運営者変更に伴い、来年度以降運営方針が変更することを説明し、取材を断る場面もあった。</p> <p>後期に入ってから、新型コロナウイルスの影響、人員削減による宣伝不足等もあり、来館者数が減少した。</p> <p>ただ、来年度以降運営者が変わるということで、休暇を利用して県外からリピーターの方が何度も訪れてくれた。また、人員を整理したことで本社負担金（赤字）を前年比で減少することができた。</p>
(3) 市の評価	<p>宇田川榕庵に関する企画など特色あるイベントを実施し、事業計画書の事業も概ね実施できていた。</p> <p>しかし、来館者数と喫茶利用者数は前年度より約半減しており、収支も赤字に転換することはできなかった。</p> <p>R元年度は指定期間の最終年度ということもあり、来館者や喫茶の売り上げの増加、リピーターの確保等に積極的に取り組めなかったことは残念であるが、次期指定管理者への業務引き継ぎは比較的スムーズに実施できたことは評価できる。</p>